



OPROARTS Connector for Salesforce ユーザーガイド (メールテンプレート)

Ver.1.1

改訂履歴

Ver.	改訂日	改訂内容
1.0	2019/06/29	新規作成
1.1	2021/09/06	OPROARTS Designer へのログイン方法について追記

本書に記載されている会社名、製品名、サービス名などは、提供各社の商標、登録商標、商品名です。
なお、本文中に TM マーク、©マークは明記しておりません。

本書の使い方

本資料では、簡単な帳票見本を作成する中で、OPROARTS Connector for Salesforce をご利用するにあたって最低限必要な基本操作手順を理解することを目的としています。

各画面のボタンやコンポーネントの詳細などについては製品ヘルプをご参照ください。

本書の表記

本書では、以下の表記で記載しています。

表記方法	内容
注意	操作上の注意事項について記載しています。
Point	操作上で知っている便利なポイントについて記載しています。
参照	本書における参照先を記載しています。
[]	ボタン名やタブ名、キーボードのキーなどの表記で使用します。
「 」	システム名、メニュー名、画面名、項目名、参照先などの表記で使用します。

目次

1. はじめに	5
2. 全体の流れ	6
3. テンプレートの作成	7
4. 項目のマッピング	10
4.1 1st Salesforce へのログイン.....	10
4.2 2nd 起点オブジェクトの選択	11
4.3 3rd 明細オブジェクトの選択.....	11
4.4 4th 明細オブジェクトの詳細.....	12
4.5 5th 関連する子オブジェクトの選択	13
4.6 6th メール内容とマッピング	14
4.7 メールテンプレートの配備と添付する帳票のテンプレート選択	15
5. メール送信アクションの作成	17
5.1 詳細ページにメール送信アクションを配置する	17
5.2 リストページにメール送信アクションを配置する	23

1. はじめに

ここでは Connector for Salesforce で利用できるメールテンプレート機能の概要について説明します。

メールテンプレート機能は、特定のオブジェクトをデータ元として生成した帳票を添付したメールを Salesforce のレコード画面から送信できる機能です。

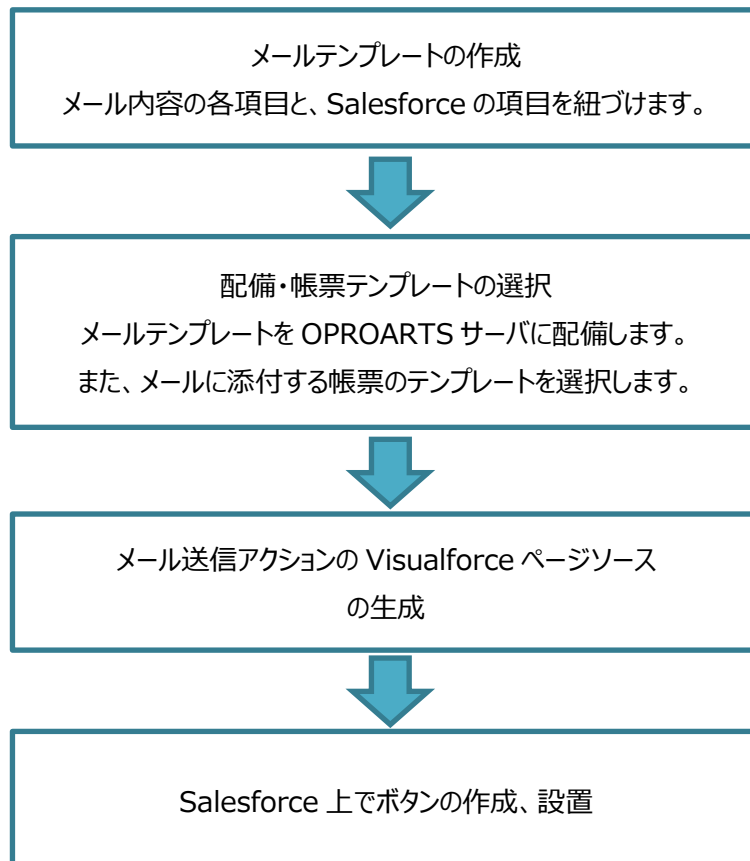
以下のようなメールが送信できます。



※本ユーザーガイドでは、メールテンプレートの作成方法についてのみ説明します。メールに添付する帳票のテンプレート作成については、「OPROARTS Connector for Salesforce ユーザーガイド(PDF/ヘッダー明細)」をご参照ください。

2. 全体の流れ

OPROARTS Connector では、以下のような流れで文書を添付したメール送信が可能になります。



3. テンプレートの作成

送信するメールのテンプレートを作成します。

本ユーザーガイドでは、以下のような帳票が添付されたメールを送信するためのテンプレートを作成します。

見積書		Q-00000001	2019/06/28
サンプル取引先 御中			
下記の通りお見積申し上げます。		デモ商事株式会社 〇〇県〇〇市 〇〇1-1-1 〇〇ビルズ 11-1111-1111 / 11-1111-1112 担当： docutize dev	
製品名	単価	数量	金額
SLA: Bronze	10,000	100	1,000,000
SLA: Gold	30,000	100	3,000,000
SLA: Platinum	40,000	100	4,000,000
SLA: Silver	20,000	100	2,000,000
合計			10,000,000
消費税			800,000
総合計 (税込)			10,800,000
サンプルデータです。			
Page 1			

特定のオブジェクトからボタン一つで、そのオブジェクトをデータ元とする帳票を添付したメールが送信できます。

本ユーザーガイドでは、商談オブジェクトをデータ元として見積書を生成し、それを添付したメールを送信する場合を考えます。

OPROARTS Designer にログインし、左上の[新規作成]をクリックします。



Point

セットアップガイドの「3.1 「LAD」ライセンスの登録」の設定ができていれば、「OPROARTS」タブの画面に[START]ボタンが表示されます。

そちらをクリックすることで、ログイン可能です。

文書出力用の認証情報の登録は、以下の手順に従ってください。

1. OPROARTS列のドロップダウンで「出力 (LA)」を選択します。
2. CID列の入力欄に、取得した認証情報のCIDを入力します。
3. 追加ボタンをクリックします。
4. 下のリストに表示されたOPROARTS列の「LA」リンクをクリックして、OPROARTSの詳細ページを開きます。
5. ユーザ列の入力欄の右のボタンをクリックして、Salesforceのユーザを選択します。
6. UID列の入力欄に、取得した認証情報のUIDを入力します。
7. UPW列の入力欄に、取得した認証情報のパスワードを入力します。
8. 追加ボタンをクリックします。
9. 文書出力を許可するユーザについて、手順 5. から 8. までを繰り返します。
10. 各ユーザのプロファイルを編集して、OPROARTSオブジェクトとOPROARTSユーザオブジェクトに対する参照のカスタム

START 新しいウィンドウで OPROART Designer を開始します!

OPROARTS		
アクション	OPROARTS キー	CID

ここでは、[メール] タブで「メール」を選択します。

連携方法「Connector for Salesforce」、 出力形式「メール」を選択してください。

以下のルールに従って任意のテンプレート名を入力し、[作成] をクリックしてください。

- 使用できる文字は、英数字とアンダーバー
- 先頭の文字はアルファベットである
- 最後の文字がアンダースコアでない
- アンダーバーが2個以上連続していない

新規作成

メール送信テンプレート

送る人
宛先
CC
BCC
送る日
件名
本文

添付ファイル
Envelope-from

タイトル メール

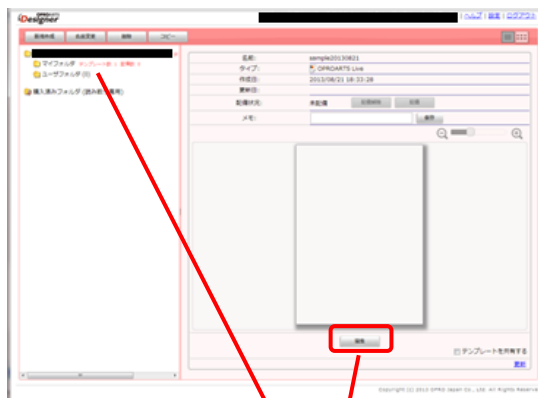
連携方法 Connector for Salesforce

出力形式 メール

テンプレート名 sample

作成先 マイフォルダ

作成



「マイフォルダ」以下のテンプレートをダブルクリックするか、[編集] をクリックして、マッピング画面を開きます。

4. 項目のマッピング

メールテンプレートに Salesforce の項目をマッピングします。

4.1 1st Salesforce へのログイン

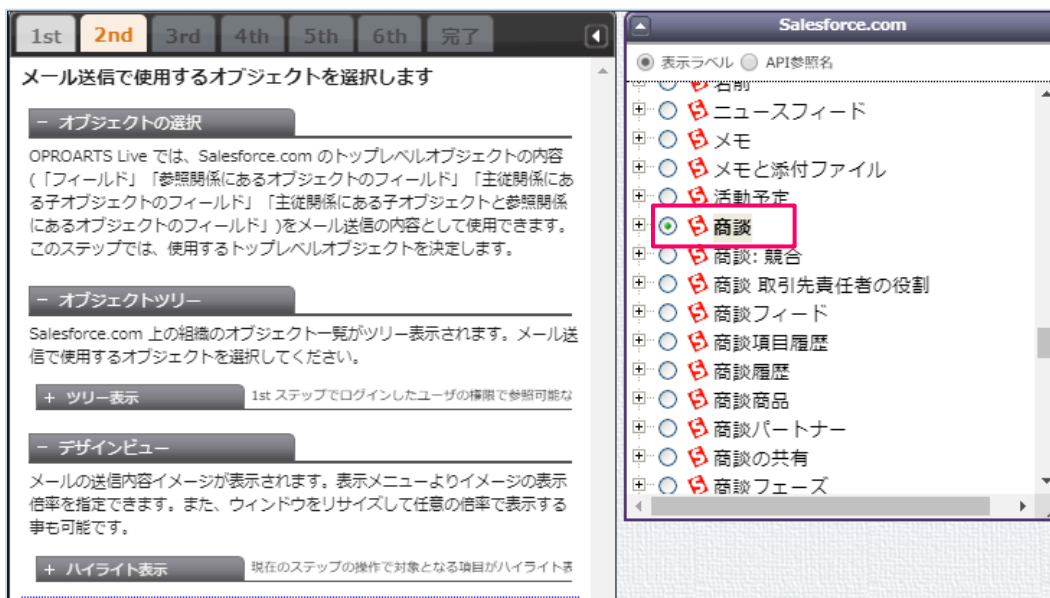
メールに添付される文書のデータ元となるオブジェクトレコードが存在する Salesforce 組織へログインします。

The screenshot displays the Salesforce.com login interface. The main content area is titled "Salesforce.com へログインします" and includes a "ログイン" button. Below the button, there is a paragraph of text explaining the login process and a warning box titled "権限について" (Permissions) which is highlighted with a red dashed border. The warning text states: "メール送信時、マッピング定義に基づき実行ユーザの権限でオブジェクトより値が取得されます。実行ユーザの権限を考慮してログインする事をお勧めします。" (When sending emails, values are retrieved from objects based on the permissions of the executing user. We recommend logging in considering the permissions of the executing user.) Below the warning, there are two expandable sections: "+ 現在のセッション" (Current Session) and "+ OAuth". The "OAuth" section is expanded, showing the text "OAuth を使って Salesforce.com から認証を受けます。" (Authenticate from Salesforce.com using OAuth). Below this, there is a "デザインビュー" (Design View) section with a "デザインビュー" button and text explaining that the email content image will be displayed. At the bottom, there is a "+ ハイライト表示" (Highlight Display) section with a "ハイライト表示" button and text explaining that the current step's target items will be highlighted. On the right side, there is a sidebar titled "Salesforce.com" with two radio buttons: "現在のログイン状態を引き継ぐ" (Continue with current login state) and "新たにログインする" (Log in anew). Below these is a dropdown menu for "アプリケーション" (Application) set to "OPROARTS Connector", a checkbox for "Sandbox へ接続する" (Connect to sandbox), and a "Login" button.

4.2 2nd 起点オブジェクトの選択

メール送信ボタンを設置するオブジェクトを選択します。

ここでは商談オブジェクトを指定します。



4.3 3rd 明細オブジェクトの選択

2nd で選択したオブジェクトの子オブジェクトを選択可能です。

ここでは「宛先に子オブジェクトを使わない」を選択し、「次へ」をクリックします。



4.4 4th 明細オブジェクトの詳細

明細データの表示順や抽出条件を指定します。

(ここでは「宛先に子オブジェクトを使わない」を選択したので、スキップされます)

The screenshot displays the Salesforce.com configuration interface. On the left, a navigation bar shows steps 1st through 6th, with '4th' highlighted. Below it, the '宛先で使用する子オブジェクトの詳細を設定します。' (Set details for the child object used in the destination) section is active. It includes a '宛先オブジェクトの詳細' (Destination Object Details) section with text explaining that OPROARTS Live uses records from the top-level child object selected in step 3rd. A '並び替え' (Sort) section contains a note: 「並び替え」が無指定の場合、送信順は不定となります。 (If 'Sort' is not specified, the order of transmission is indefinite). Below this is an 'オブジェクトツリー' (Object Tree) section with instructions on how to view and specify extraction conditions and sort order. A table at the bottom lists actions: '+ ツリー表示' (Tree View), '+ 抽出条件' (Extract Conditions), and '+ 並び替え' (Sort). On the right, the 'Salesforce.com' interface shows a list of fields for the 'Account' object, including '削除', 'マスターレコード ID (Account)', '取引先名', '取引先 種別', '親取引先 ID (Account)', '町名・番地(請求先)', '市区郡(請求先)', '都道府県(請求先)', '郵便番号(請求先)', and '国(請求先)'. The '抽出条件' (Extract Conditions) section is expanded, showing a checked '並び替え' (Sort) option and a text input field containing 'Account.Name ASC'.

ここでは明細の並び替えで商品名を昇順指定しています。

並び替え対象の項目を「並び替え」の欄にドラッグ&ドロップしたのち、

昇順: ASC

降順: DESC

を末尾に追加することで指定可能です。

4.5 5th 関連する子オブジェクトの選択

2nd で選んだオブジェクトの関連レコードで、使用したいオブジェクトを選択します。

今回の例では何も選択せず、「次へ」をクリックします。

The screenshot displays the Salesforce OPROARTS Live configuration interface. At the top, a navigation bar shows steps from 1st to 6th, with the 5th step highlighted. The main content area is titled "関連する子オブジェクトを選択します" (Select related child objects). It contains two sections: "関連する子オブジェクト" (Related child objects) and "オブジェクトツリー" (Object tree). The "オブジェクトツリー" section includes instructions and three expandable options: "ツリー表示" (Tree view), "抽出条件" (Filtering conditions), and "並べ替え" (Sorting). On the right, a sidebar titled "Salesforce.com" shows a list of child objects under the "商談" (Opportunity) parent object. The list includes AccountPartners, ActivityHistories, Attachments, ContentDocumentLinks, FeedSubscriptionsForEntity, Events, Notes, NotesAndAttachments, OpenActivities, OpportunityCompetitors, OpportunityContactRoles, Feeds, Histories, OpportunityHistories, OpportunityLineItems, and OpportunityPartnersFrom. Each item has a checkbox and a red icon.

4.6 6th メール内容とマッピング

マッピングを行います。以下の値を指定可能です。

[2nd][3rd]で選んだオブジェクトと、演算子・関数を使用して指定可能です。

コンポーネント	データ	フォーマット
From	'sender.sample@gmail.com'	
To		
CC		
BCC		
ReplyTo		
Subject	Opportunity.Account.Name '様見積書'	
Body	'見積書です。'	

From : 差出人のメールアドレスに使用する項目を指定します。

To : 宛先のメールアドレスに使用する項目を指定します。

CC : cc に使用する項目を指定します。

BCC : BCC に使用する項目を指定します。

ReplyTo : 返信先を指定します。

Subject : メールの件名を指定します。

Body : メールの本文を指定します。

4.7 メールテンプレートの配備と添付する帳票のテンプレート選択

マッピングが完了したら[次へ]をクリック、その後[保存]をクリックし、

コンポーネント	データ	フォーマット
From	'sender.sample@gmail.com'	
To		
CC		
BCC		
ReplyTo		
Subject	Opportunity.Account.Name '様見様書'	
Body	'見様書です。'	

テンプレート配備ウィザードにて[配備]をクリックしてテンプレートをメール送信に使用できる状態にします。

メールテンプレートの配備

OPROARTS サーバにメールテンプレートを配備します。テンプレートは「CID(弊社より発行されたOPROARTSの認証情報)」「テンプレート名」をキーに配備されます。配備完了後、OPROARTS サーバからのメール送信が可能となります。配備ボタンのクリックで、 [] テンプレートを配備します。

配備

メールプレビュー

※テンプレートの編集をした際も、必ず[配備]をクリックしてください。配備をしないと変更点がメール送信に反映されません。

メールに添付する帳票のテンプレートを選択し、[<]ボタンで追加します。

メールテンプレート配備ウィザード ✕

添付用テンプレートの選択

メールに添付するドキュメントで使用するテンプレートを選択します。帳票オブジェクトが同じで、かつ、同じ CID に保存されているドキュメントテンプレートを複数選択することもできます。複数のテンプレートを選択した場合、それぞれの内容が結合されたドキュメントがメールに添付されます。

上へ
下へ

選択済み	<	選択可能
	<<	simple_quotation_for_manual_sf Template1
	>	yuri2018091801
	>>	sample_quotation_th

メールプレビュー

ボタンのクリックで、表で選択されたレコードの内容が埋め込まれた「メールの送信内容」「添付ドキュメント」がプレビューされます。

<input type="checkbox"/>	商談 ID	取引先 ID, 取引先名
<input type="checkbox"/>	0060x0001G5X7YAAV	サンプル取引先
<input type="checkbox"/>	0060x0001EHL29AAH	Dickenson plc

5. メール送信アクションの作成

Salesforce のレコード画面からメール送信するアクションを作成します。

Salesforce のレコード画面から Connector for Salesforce でメール送信をするためには、メール送信をリクエストするアクションを Salesforce 上に作成する必要があります。

ここでは、1. 詳細ページにメール送信アクションを配置する場合と、2. リストページにメール送信アクションを配置する場合を説明します。

5.1 詳細ページにメール送信アクションを配置する

1. [こちらのページ](#)より、「(Connector) Lightning 用詳細ページ向けボタン.txt」をダウンロードします。
2. ダウンロードしたファイルの内容を以下のように書き換えます。
 - 1 行目、52 行目の『オブジェクト名』を、ボタンを置くオブジェクトの API 参照名に変更
 - 27 行目の『メールに添付するテンプレート名』を、帳票テンプレート名に変更
 - 60 行目の『メールテンプレート名』をメールテンプレート名に変更
3. 変更したファイルの内容を全選択してコピーします。

```
<apex:page showHeader="false" sidebar="false" standardStylesheets="false" standardController="Opportunity">
<apex:includeScript value="https://s.opoarts.com/js/query-1.12.4.min.js" />
<apex:includeScript value="https://s.opoarts.com/js/live_ff-1.32.js" />

<script type="text/javascript">
$(document).ready(function() {
    output();
});

function submit(url) {
    if (sforce && sforce.one) {
        sforce.one.getVersion('22.0', function (s1) {
            s1.navigateToURL(url);
        });
    } else {
        window.location.replace(url);
    }
}

function output() {
    var url = OPROARTS.Live.fxFaction([
        // tp: 配備済みテンプレートの名称を指定します。複数指定することもできます。
        // このパラメータを省略することはできません。
        tp: [
            'simple_quotation_for_manual_sf'
        ],
        // fe: フォントの埋め込みかどうかを指定します。true もしくは false で指定します。
        // 実行するメソッドが "toBuildUrl(pdf)" または "toBuildUrl(pdfPreview)" の場合に有効です。
        // また、テンプレートで埋め込み可能なフォントが使用されている必要があります。
        fe: false,

        // createsAttach: 作成されたドキュメントをオブジェクトに添付するかどうかを指定します。true もしくは false で指定します。
        // 添付できないオブジェクトの場合、このパラメータを true で指定しないでください。
        createsAttach: false,

        // createsTask: 作成されたドキュメントを活動履歴に登録するかどうかを指定します。true もしくは false で指定します。
        // 活動履歴に登録できないオブジェクトの場合、このパラメータを true で指定しないでください。
        // このパラメータに true を指定した場合、次の追加パラメータを指定することができます。
        // - taskSubject: 活動履歴の件名
        // - taskComment: 活動履歴のコメント
        // 無指定の場合は、システムの初期値が適用されます。
        createsTask: false,

        // title: ダウンロード・添付・活動履歴のファイル名を指定します。
        title: "",

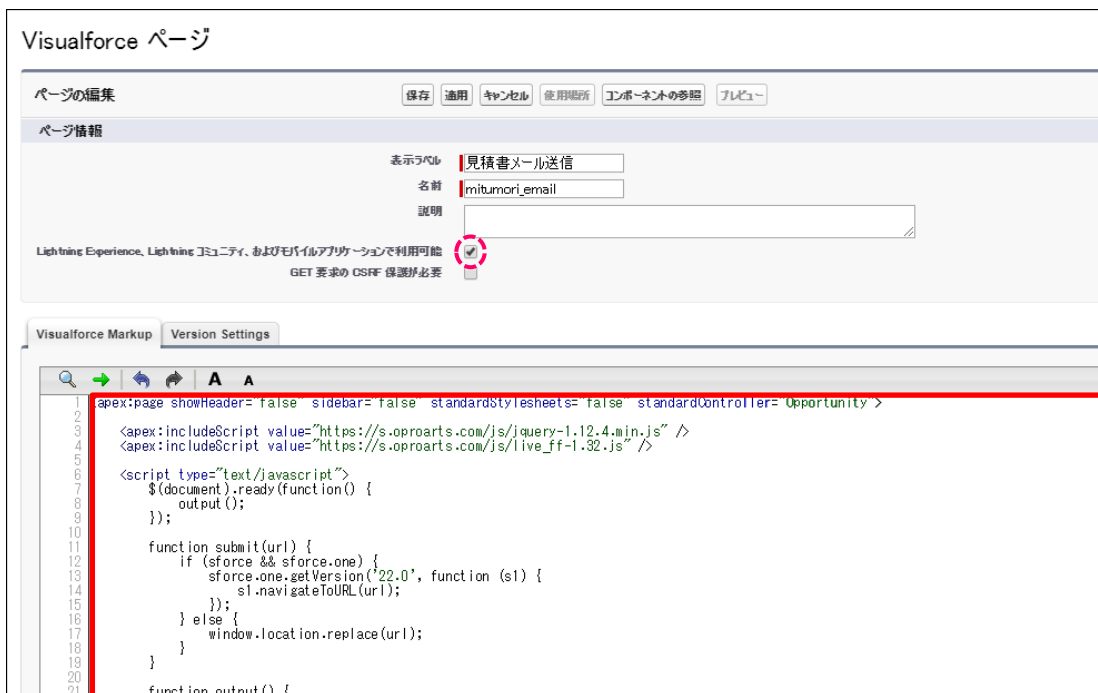
        // objectId: 帳票オブジェクトのIDを指定します。
        objectId: '{JSENCODE(Opportunity.Id)}',

        // OPROARTS.Live = Force.com API に必要なパラメータです
    ]
    );
}
```

4. 設定>カスタムコード>Visualforce ページを選択します。



5. [新規]ボタンをクリックし、下記のように設定して[保存]ボタンをクリックします。



表示ラベル(例)

見積書メール送信

名前(例)

mitumori_email

「Lightning Experience～」

チェックを入れる

内容

3 でコピーした内容

6. アクションを設置するオブジェクトを選択して、設定の[オブジェクトを編集]をクリックします。



7. [ボタン、リンク、およびアクション]を選択して、[新規アクション]をクリックします。



8. 下記のように設定して[保存]ボタンをクリックします。

商談 アクション
新規アクション

アクション情報を入力

オブジェクト名 商談

アクション種別 カスタム Visualforce

Visualforce ページ 見積書メール送信 [mitumori_email]

高さ 250 ピクセル

標準の表示ラベル種別 なし

表示ラベル 見積書メール送信

名前 QuotationEmailSending

説明

アイコン ⚡ アイコン変更

保存 キャンセル

アクション種別

カスタム Visualforce を指定

Visualforce ページ

4 で作成した Visualforce ページ を指定

高さ

変更なし

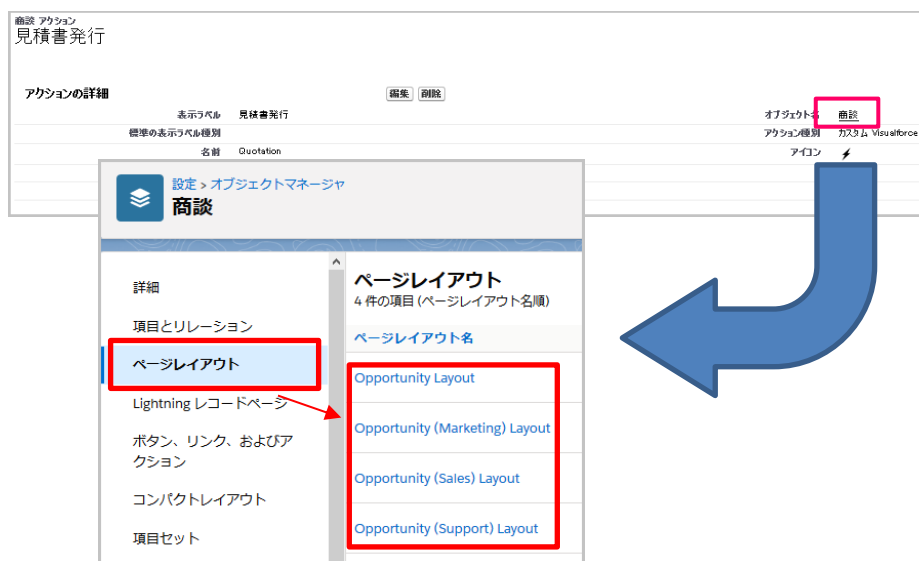
表示ラベル(例)

見積書メール送信

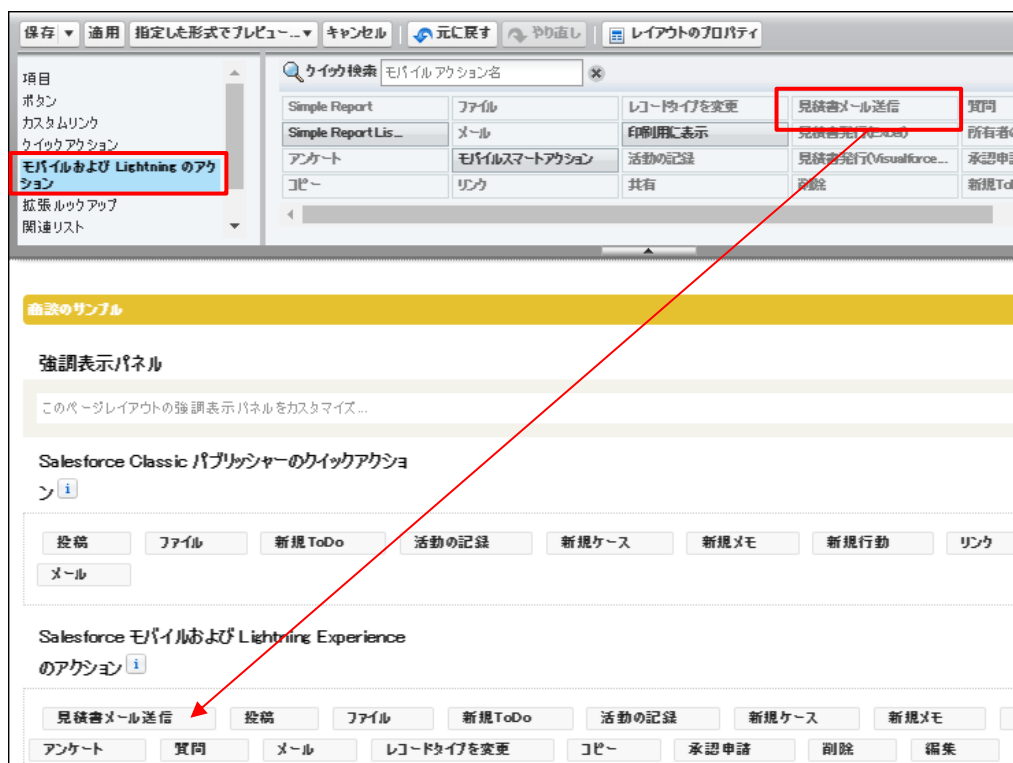
名前(例)

QuotationEmailSending

- 設定 > オブジェクトマネージャ > 商談画面に戻り、[ページレイアウト]をクリックし、ボタンを表示させたいページレイアウトの[編集]リンクをクリックします。



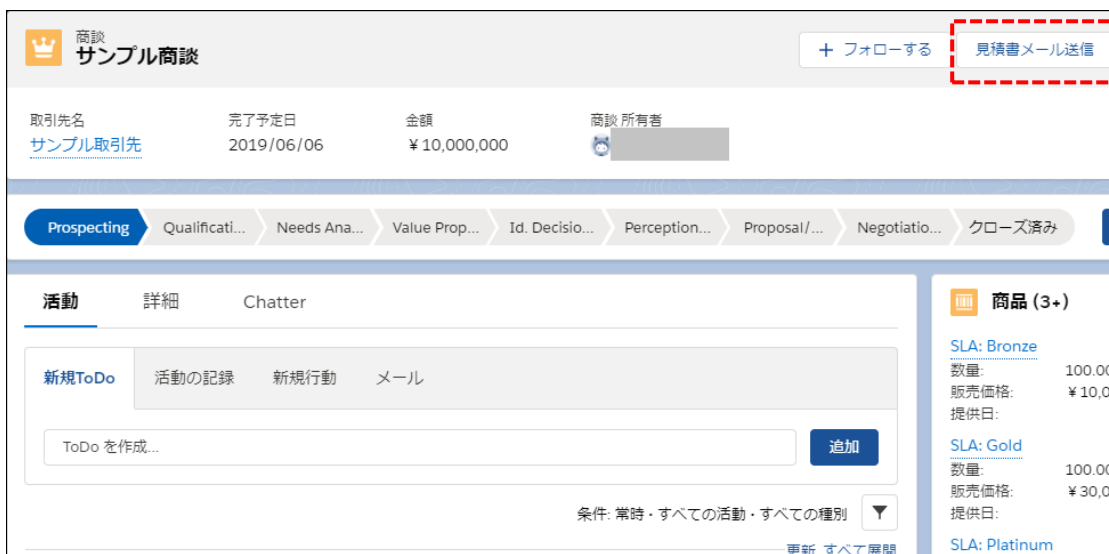
- レイアウト編集画面の「モバイルおよび Lightning のアクション」メニューをクリックし、7 で作成したボタンを「Salesforce モバイルおよび Lightning Experience」セクションにドラッグ & ドロップします。



11. [保存]ボタンをクリックしてレイアウトを保存します。



12. 商談詳細ページにアクションが表示されていることを確認します。



5.2 リストページにメール送信アクションを配置する

1. [こちらのページ](#)より、「(Connector) Lightning 用リストビューページ向けボタン.txt」をダウンロードします。
2. ダウンロードしたファイルの内容を以下のように書き換えます。
 - ・3行目の『オブジェクト名』を、ボタンを置くオブジェクトの API 参照名に変更
 - ・46行目の『メールに添付するテンプレート名』を、帳票テンプレート名に変更
 - ・87行目の『メールテンプレート名』をメールテンプレート名に変更
3. 詳細ページのメール送信アクション 3～6 の手順を行い、「カスタムボタンまたはカスタムリンク」の編集画面へアクセスし、下記のように設定して[保存]ボタンをクリックします。

商談のカスタムボタンまたはカスタムリンク
新規ボタンまたは新規リンク

カスタムボタンまたはカスタムリンクの編集

保存 適用 プレビュー キャンセル

表示ラベル

名前 ⓘ

説明

表示の種類

詳細ページリンク サンプルを表示

詳細ページボタン サンプルを表示

リストボタン サンプルを表示

チェックボックスの表示 (複数レコード選択用)

動作 ▼ 動作オプションの表示

内容のソース ▼

コンテンツ ▼

保存 適用 プレビュー キャンセル

表示ラベル(例)

見積書一括メール送信

名前

QuotationPackageEmailSending

表示の種類

リストボタン を指定

チェックボックスの表示(複数レコード選択用) にチェック

動作

現在のウィンドウにサイバー付きで表示 を指定

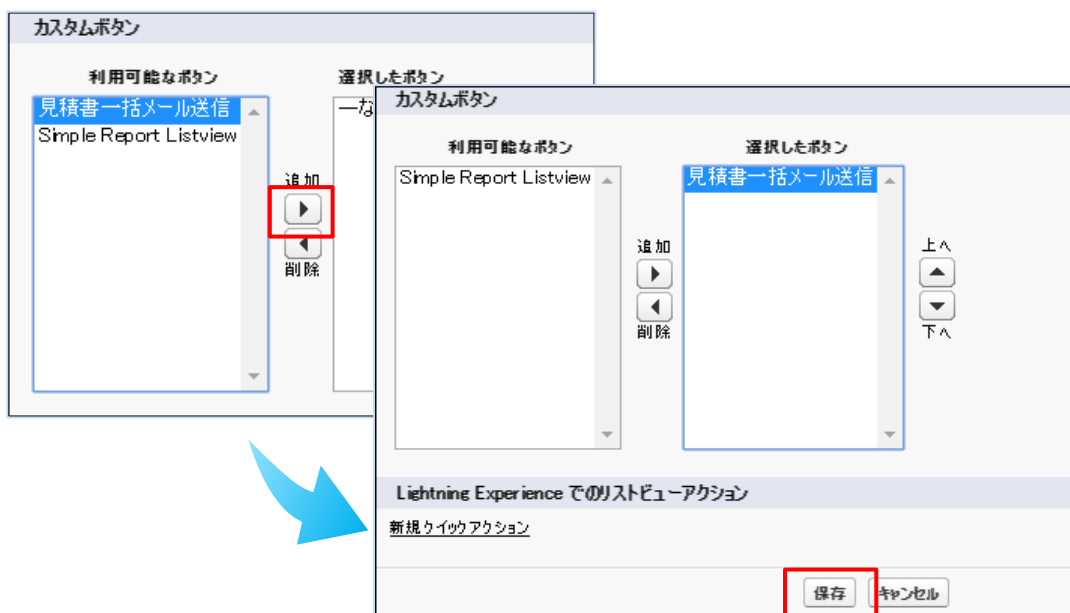
内容

コンテンツ→作成した Visualforce ページを指定

4. 設定> オブジェクトマネージャ> 商談画面の[検索レイアウト]をクリックし、リストビューの[編集]リンクをクリックします。

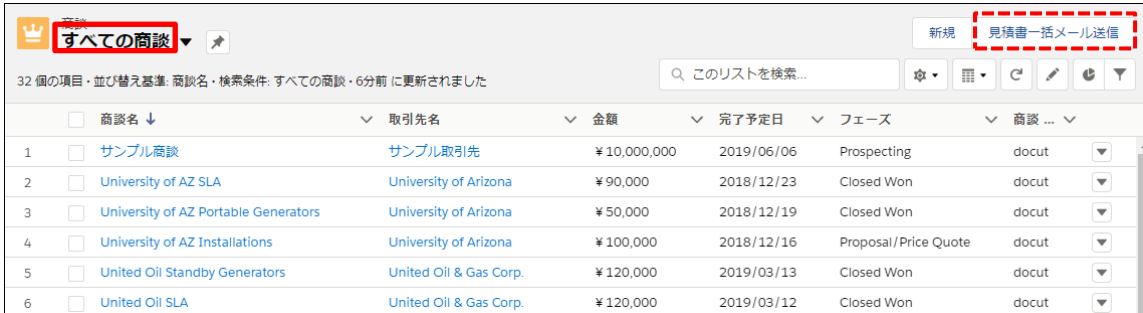


5. 2 で作成したアクションを選択して[追加]ボタンをクリックし、保存します。

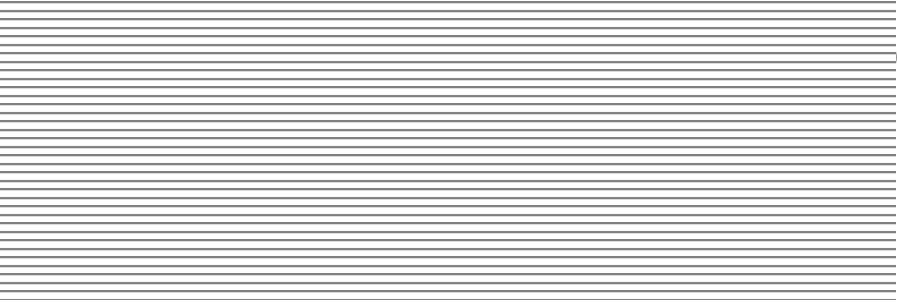


6. リストビューページにアクションが表示されていることを確認します。

※「すべての商談」を選択してください。



<input type="checkbox"/>	商談名 ↓	取引先名	金額	完了予定日	フェーズ	商談 ... ↓
1	<input type="checkbox"/> サンプル商談	サンプル取引先	¥10,000,000	2019/06/06	Prospecting	docut
2	<input type="checkbox"/> University of AZ SLA	University of Arizona	¥90,000	2018/12/23	Closed Won	docut
3	<input type="checkbox"/> University of AZ Portable Generators	University of Arizona	¥50,000	2018/12/19	Closed Won	docut
4	<input type="checkbox"/> University of AZ Installations	University of Arizona	¥100,000	2018/12/16	Proposal/Price Quote	docut
5	<input type="checkbox"/> United Oil Standby Generators	United Oil & Gas Corp.	¥120,000	2019/03/13	Closed Won	docut
6	<input type="checkbox"/> United Oil SLA	United Oil & Gas Corp.	¥120,000	2019/03/12	Closed Won	docut



OPROARTS Connector
for Salesforce
ユーザーガイド
(メールテンプレート)

